

(様式1)

海上保安庁職員採用申込書（課長補佐級・係長級）

(写真票)

私は海上保安庁職員採用（課長補佐級・係長級）について申し込みます。
 なお、私は右に掲げる各号のどれにも該当していません。また、この申込書のすべての記載事実に相違ありません。

令和 年 月 日

氏名（自筆）

(1) 日本の国籍を有しない者
 (2) 国家公務員法第38条の規定により国家公務員と
 なることができない者
 ・禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその刑の執行猶予の期間中の者、その他その執行を受けることがなくなるまでの者
 ・一般職の国家公務員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない者
 ・日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

※

※	1	2	3
	4	5	6
	7	8	9

年 月 撮影

(ふりがな)
氏 名

生年月日・性別 昭和 年 月 日生 平成	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	採用希望管区等（別紙参照） ※番号
-----------------------------------	--	--

採用希望官職（別紙参照、併願可。）
 （希望官職） (併願の希望官職)

[郵便番号 -] (電話() -)

(ふりがな)
住 所
 (同居先 方)

通知の際の連絡先（現住所と異なる場合のみ記入して下さい）

[郵便番号 -]
 (電話() -)
 (同居先 方)

検定・資格免許 受験資格に該当する免状を 取得している 取得見込みである
 （受験資格に該当する免状とその他取得している免状の名称・証書番号・取得年月日・交付機関名を記入して下さい）

職 歴 海上保安庁を退職した以降、就職したことが
 ない
 ある（職歴がある場合は、職歴表に最近のものから記入して下さい。）

記入心得

- ※印の欄を除くすべての欄にもれなく記入して下さい。該当する□の中にはレ印をつけ、その他の該当する事項は○で囲んで下さい。
- 氏名及び生年月日は、戸籍記載のとおり正確に記入して下さい。また、通知の際の連絡先の記入にあたっては、休暇等で現住所に不在の場合、試験機関からの通知連絡を受けるのに都合のよいところを正確に記入して下さい。
- 記入にあたっては、青又は黒のインクを用い、ていねいに書き、数字は算用数字で書いて下さい。
- 写真が貼っていない場合、又は不鮮明その他受験写真として適当でない場合は申込書を受理しません。
- 記載事項に不正があると受験が無効となる場合があります。

※ 受付印

採用希望管区等 ※次の管区等から一つを選択	学歴等 採用希望官職 ※次の官職から選択(併願可。)
本庁	巡視船首席航海士
第一管区	巡視船主任航海士
第二管区	巡視船首席機関士
第三管区	巡視船主任機関士
第四管区	巡視船首席通信士
第五管区	巡視船主任通信士
第六管区	PLH型巡視船首席飛行士
第七管区	PLH型巡視船主任飛行士
第八管区	(海上保安)航空基地上席飛行士
第九管区	(海上保安)航空基地主任飛行士
第十管区	PLH型巡視船首席整備士
第十一管区	PLH型巡視船主任整備士
	(海上保安)航空基地上席整備士
	(海上保安)航空基地主任整備士
	巡視船首席航海士
	巡視船(艇)主任航海士
	巡視船首席機関士
	巡視船(艇)主任機関士
	巡視船首席主計士
	巡視船(艇)主任主計士
	本庁の係長級
	管区本部の課長補佐級
	管区本部の係長級
	巡視船首席通信士
	巡視船主任通信士
	管区本部又は管区本部事務所の課長補佐級
	管区本部又は管区本部事務所の係長級
	PLH型巡視船首席飛行士
	PLH型巡視船主任飛行士
	(海上保安)航空基地上席飛行士
	(海上保安)航空基地主任飛行士
	PLH型巡視船首席整備士
	PLH型巡視船主任整備士
	(海上保安)航空基地上席整備士
	(海上保安)航空基地主任整備士

※海上保安学校卒業者は、募集案内に記載の学歴等に応じた採用予定官職を選択して下さい。